

Table with columns: 受検理由, 中途採用, 番号, 1234567, 氏名, 縁 太郎, 性別, 男性, 年齢, 26歳(1989/11/07生), 最終学歴, 大学, 卒業区分, 卒業, 文理区分, 理系, 学校名, エン・ジャパン大学

3E-p (性格・価値観テスト)

現代の会社や組織で求められる性格面や、キャリアに対して大切にしている価値観の診断結果です。

1.性格特性

会社や組織における活動のベースとなる、性格・気質をみています。

Table with columns: 項目名, 偏差値, 定義, 各項目のレベル (2%, 14%, 68%, 14%, 2%)

: 注意すべき範囲 (受検者の下位16%が入る範囲)

2.創造的思考性

何かを創りあげる際の思考傾向をみています。新たな商品やサービスを創造するためには、拡散思考と収束思考の両方の思考性が必要になります。

Table with columns: 項目名, 偏差値, 定義, 各項目のレベル (2%, 14%, 68%, 14%, 2%)

: 注意すべき範囲 (受検者の下位16%が入る範囲)

3.コミュニケーション力

会社や組織で円滑な人間関係を築くための基礎にあたる力をみています。

Table with columns: 項目名, 偏差値, 定義, 各項目のレベル (2%, 14%, 68%, 14%, 2%)

: 注意すべき範囲 (受検者の下位16%が入る範囲)

4.エネルギー量

様々な活動を支える基礎的なパワーをみています。社会が豊かになると低下傾向になります。

Table with columns: 項目名, 偏差値, 定義, 各項目のレベル (2%, 14%, 68%, 14%, 2%)

: 注意すべき範囲 (受検者の下位16%が入る範囲)

5.ストレス耐性

各種のストレス (刺激によって引き起こされる緊張) に対して、どの程度耐えうる特性を持っているかをみています。

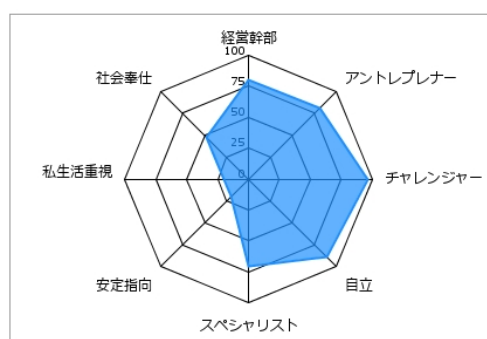
Table with columns: 種類, 得点, 判定 (問題なし, やや注意, 要注意)

【問題なし】...業務遂行において問題のないレベルです。
【やや注意】...ストレスによっては注意が必要なレベルです。
【要注意】...ケアが必要となるレベルです。

6.キャリアタイプ指向性

仕事に対する価値観をみています。一般の社会人は体験を元に形成されますが、学生・第二新卒の場合は希望・願望を表しています。

Table with columns: タイプ名, 得点, 特徴



7.職務適性

同職種における職務内容が多様化していることから、従来の職種適性ではなく職務適性をみています。

Table with columns: 職務, 低, 適性レベル, 高

8.総合特徴

性格特性、創造的思考性、コミュニケーション力、エネルギー量、ストレス耐性、キャリアタイプ指向性の診断結果の特徴をコメントにまとめています。

自分の意思で判断し、その実現に向かって自ら積極的に行動する姿勢を強く持った、主体者意識の強いタイプである。また、多くの人や新しい情報に積極的に関与しながら周囲を巻き込んでいく社会的なところもある。一方で相手に合わせたり、周囲に配慮することよりは、ひとりで行動しようとする傾向が強くみられる。創造的思考性においては、既存の概念にとらわれることなく、自由な発想でアイデアを膨らませ、多少のリスクが伴っても、自らそのアイデアを活かしていくこうとする姿勢が強くみられる。コミュニケーションにおいては自分の考えをしっかりと理解させていく姿勢が強く、相手に合わせ、考えや意図を的確に伝えることができる。ただ、相手を尊重するために、相手の気持ちや感情を正しく感じ取ったり、要望や期待を受け入れていくことは苦手である。エネルギー量においては、負けず嫌いで、周囲よりも抜き出たいという意識があり、競争心を持って取り組む傾向が強くみられる。その一方、行動力がやや低く、何かあると自ら思わず動いてしまう傾向が若干弱い。仕事の負荷量へのストレス耐性はとても高く、責任ある仕事を任せられたり、過剰な業務量などにストレスを感じることなく、自分のペースを守って仕事に取り組むことができる。ただ、評価・評判に対するストレス耐性が弱く、他者から自分がどのように評価されているかが気になってしまい、ストレスをためやすい。キャリアについては、困難なことに積極的に取り組んだり難しい課題を克服していくことなど、その壁を乗り越えるプロセスを重視していくことを指向している。一方、仕事と個人的な時間のバランスをとって、プライベートな時間を充実させていくことはあまり指向していない。

9.注意すべき点

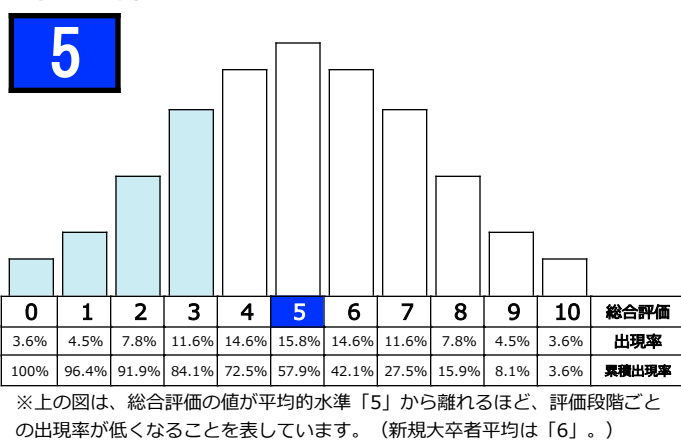
回答結果の信憑性について、「一貫性」、「虚偽性」の2つの観点でみています。

Table with columns: 一貫性, 虚偽性, 問題なし, やや高い, 高い

3E-i (知的能力テスト)

学校名や入試偏差値に依存しない、会社や組織で求められる基礎的な知的能力の診断結果です。

●総合評価



●系統別集計

Table with columns: 基礎系, 6, 定型業務の遂行能力; 記憶力, 8, 記憶、転記、及びすべての知能作業の基礎となる能力; 言語力, 6, 単語の判別力と、語彙の豊富さを表す能力; 計算力, 4, 基礎的な計算を早く正確に行う能力; 応用系, 4, 非定型業務の遂行能力; 計算応用力, 3, 数理的な分野で事象から仮説を立てる能力; 直観力, 4, 物事を空間的に把握する能力; 言語応用力, 5, 語彙の豊富さと、並行して思考を切り替えられる能力; 推理力, 4, 数的思考の発想力と適切に情報を処理する能力

memo